

平成30年 食品工場及び業務用厨房施設における一酸化炭素中毒事故一覧

	月 日	県 名	死亡	中毒	事 故 概 要	ガス種
1	3月14日	福岡県	0	4	パンを製造・販売する店舗の厨房において、パン焼器を使用中、従業員1名が倒れ、他3名も顔色が悪かったことから病院へ搬送され、CO中毒と診断された。原因は、パン焼き機の給気ノズルの詰まりによる不完全燃焼と推定される。	LPガス
2	3月23日	東京都	0	3	寿司店で、業務用鋳物コンロ、炊飯器、小型湯沸かし器を使用していたところ、換気警報器が鳴動し、従業員1名が体調不良を訴えたため、他2名の従業員も付き添いで病院へ行った。その後、付き添いの従業員2名も体調不良を訴え、3名がCO中毒と診断され高圧酸素治療を受けた。 原因はガス機器（どの機器かは不明）が酸素不足により不完全燃焼となり、CO中毒に至ったものと推定される。	都市ガス
3	5月28日	東京都	0	2	病院厨房で、食後の食器洗浄を行っていた従業員2名が気分が悪くなり、病院へ搬送された。原因は、業務用食器洗浄機の不調による不完全燃焼が発生し、かつ、排気ダクトを作動し忘れていたためと推定される。	LPガス
4	6月21日	北海道	0	6	弁当工場において、大型炊飯釜を使用中に複数名が倒れたと消防より通報。従業員のうち、69名が診断を受け、その内6名がCO中毒と診断された。原因については、停電後に炊飯室の換気設備が自動的に復旧されないことが、現場検証により確認されており、復電後に換気設備が未稼働の状態業務用炊飯器を稼働し続け、不完全燃焼状態となり、COが作業場内に拡散し、中毒に至ったものと推定される。	都市ガス
5	6月30日	愛知県	0	4	ラーメン店内で従業員が倒れているところを、来店した客が発見し消防へ通報。店の従業員3名及び一般客1名がCO中毒で病院へ搬送された。いずれも軽傷。原因は、何らかの原因で厨房内が換気不良となり、業務用麺茹で器からCOが発生・拡散したものと推定される。	都市ガス
6	7月9日	鹿児島県	0	3	新規開店準備中のラーメン店において、調理中の従業員3名がCO中毒となり治療を受けた。原因は、使用していたラーメン釜の排気フードの防火ダンパーが閉じていたことによる排気不足、及び窓等が閉められていたことによる吸気不足のため、ラーメン釜が不完全燃焼を起こし、COが発生したと推定される。	LPガス

	月 日	県 名	死亡	中毒	事 故 概 要	ガス種
7	7月19日	埼玉県	0	3	公共施設において、料理教室の参加者3名が軽傷を負うCO中毒事故が発生した。 原因は、消費者が掃除の際に生そば釜の下部にあるバーナーのヘッド部を逆に取り付け、その部品の一部が落下し燃焼部を塞いだため、不完全燃焼を起こしたものと推定される。また換気扇を使用していなかったため、発生したCOが室内に滞留したと推定される。	LPガス
8	7月25日	神奈川県	0	1	パン製造所において、警報器が鳴動し従業員1名が体調不良を訴え病院へ行ったとのこと。店舗責任者によると、従業員はCO中毒との診断で治療を受け、26日に退院したとのこと。 原因は、換気設備の吸い込み低下及び、パンオープン給気口とバーナーへの小麦粉や埃詰まり等により、厨房内においてパンオープンが正常に燃焼するために必要な空気量が確保できず、燃焼状態が悪化しCOが発生したもの。	都市ガス
9	9月6日	愛知県	0	7	事業者は、消防から「ガス機器使用中にCO中毒事故が発生」との連絡を受け出動。現場にて確認したところ、業務用厨房内で業務用食器洗浄機使用中にCOが発生し、従業員5名がCO中毒で病院に搬送されたが、いずれも軽傷。その後、2名が自ら病院に行き検査入院となった。 需要家は換気扇を回さない状態で2～3時間、ガス機器を使用しており、食洗機の不完全燃焼が起きたものと推定される。	都市ガス
10	9月8日	鳥取県	0	2	パン製造所で、パン焼き器使用中に従業員2名が気分が悪くなり病院に搬送された。診断の結果軽度のCO中毒であった。2名とも当日帰宅。販売事業者は、平成30年7月2日に消費設備調査を実施し、異常がないことを確認している。 原因は、機器使用中に換気扇を稼働させなかったため、COが作業場内に発生したものと推定される。	LPガス
11	10月24日	静岡県	0	6	卵焼きを専用の焼成機で製造中、不完全燃焼により一酸化炭素が発生し、製造事業所の従業員6名が中毒症状となった。原因は、焼成機のガスバーナーが劣化し不完全燃焼していたことに加え、換気扇の起動を忘れていたため、発生した一酸化炭素が焼成機室内に滞留し、近くにいた作業者が一酸化炭素中毒になったと推定される。	高圧ガス
参考	1月12日	千葉県	1	0	一般住宅において、20代男性が浴室の浴槽内で死亡しているのを、同居の祖母が発見した。 原因は脱衣所に設置されていた瞬間湯沸器の混合水栓からシャワーホースにより浴槽に湯張りを行う不適切な使用を、換気が不十分なまま長時間(45分間)行ったことにより、一酸化炭素が発生し浴室内に流入したことで、一酸化炭素中毒に至ったものと推定される。	LPガス